

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（8月定例会）会議録
開催日時	平成27年8月17日（月曜日）午後3時から5時25分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、川崎委員、木下委員、沼本委員、服部委員、原委員、原田委員、森田委員、矢野委員 事務局：岡本社会教育課長、岡本係長、神田主査
議題	議題1 平成27年度社会教育関係団体補助金について 議題2 社連協交流大会について 議題3 今後の活動について 議題4 報告 その他
配布資料	資料1 西東京市社会教育関係団体に対する補助金交付に係る申請及び実績報告の審査等の基準 資料2 平成27年度社会教育関係団体交付決定関係資料 資料3 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会 実施要項（案） 資料4 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画 資料5 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会の開催について（通知） ・平成27年度社会教育委員の会議日程一覧（平成27年7月～平成28年6月） ・西東京市図書館だより 第58号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（27年7月定例会議の会議録について承認する。）</p> <p><b>議題1 平成27年度社会教育関係団体補助金について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、配布資料1から2に添って、補助金交付決定の経過について説明。</li> <li>・事務局で申請書類の内容を確認し、審査等の基準内容に沿って審査の上、交付決定額（案）を作成した。</li> </ul> <p>（主な質疑応答・意見）</p> <p>○委員： 参加者はどの位いるのか。</p> <p>○事務局： この団体は、随時募集をしているようだ。申請の段階では、定員の10名はまだ超えていないと聞いている。もともとこの団体は小中学生がメンバーのオーケストラであるが、今回は大人まで対象を広げ、子どもと大人の交流も図ろうという事業内容になっている。</p>	

○委員：

社会教育関係団体の行う事業の考え方として、会費により自主的に活動しているオーケストラ活動のひとつとしてのワークショップなのか、その団体が持つノウハウを一般市民や子どもたちに提供する事業なのかにより公共性が違うと思う。12回ともメンバーだけに指導がされるのか。例えば、何回かは一般の子どもが楽器に触れる機会を提供するなど、一般の人たちも、音楽に親しみを持てる場を作るという内容にするとか、通常演奏をやっていない方にも恩恵がある形で公共性を担保する工夫が必要ではないか。

○委員：

応募した人は、ジュニアオーケストラの会員と別にワークショップに参加するということか。

○事務局：

そうです。

○委員：

ワークショップの成果発表としてコンサートをやるようだが、市民向けには無料なのか。

○事務局：

無料である。

○委員：

この団体の様子を聞くと、新しい子を育ててもやめていく、新しい人がなかなか入会せず会員数も増えない、子どもなので会費も上げられないなど運営も大変なようだ。子どもから大人までを含めた文化を楽しむ人がどの程度いるかわからないが、文化に親しむ入り口として大事な事業であれば、支援したいと思う。

○委員：

類似の団体は、市内にあるのか。

○事務局：

子どものオーケストラはないと思う。

委員：

団体の演奏会で、小学生が一生懸命やっている姿を見ると、支援してあげたいと思う。青少年のスポーツ活動は盛んだが、楽器演奏などの文化活動はお金もかかり、続けるのが難しい面があるようだ。補助金制度としては、公金補助としてのルールがある。社会教育委員としては、子どもたちを育てていく視点を持って何か考えていくことも必要ではないか。

委員：

文化を育て、子どもたちの未来のために市として補助するということには異論はない。しかし、今回の社会教育関係団体補助金の審査等の基準に照らして考えると、申請された事業が公益性が高いとか、事業の貢献性として広く市民への効果、波及性があるということに出来るだけ団体が近づいた形の事業を計画できているかが大事である。団体にはこの補助金制度の枠に沿った事業を申請してもらう必要があるだろう。

○事務局：

今回の意見を踏まえ、再度申請事業評価の内容を検討したい。申請団体にも、事業の実施にあたり、より公共性が高まるよう努力、工夫をするように伝えたい。

○議長：

審議の結果、社会教育委員の会議として、平成27年度補助金交付団体及び補助金決定額について、了承してよろしいか。

○全委員：

異議なし。

## **議題2 社連協交流大会について**

○議長：

7月16日（木曜日）の検討会には、8名の委員の方にご参加いただいた。欠席された委員からも意見をお寄せいただいた。それらの意見をもとに、概ねの内容と時程について、配布資料3「平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）」のとおり取りまとめ、7月23日（木曜日）の役員会、理事会に提案し了承された。今回の「学び、行動する市民が創造する循環型の地域学習社会を目指して」の統一テーマも非常に良いということで、力強いエールを頂いた。ブロック研修会のそれぞれの各ブロックからパネラーを出すことも異論はなかった。今後は、基調講演の内容、講師の決定、パネルディスカッションの進め方などについて検討していきたいと思う。  
（基調講演の講師について）

○委員：

基調講演の講師として、文教大学の金藤ふゆ子先生はいかがか。金藤先生は中央教育審議会の臨時委員をされていたので、循環型学習社会について、国の動きも含めた具体的なお話もしていただけるのではないかな。

○委員：

金藤先生のお話を聞いたことがあるが、内容もコンパクトにまとめられて、とても理解がし易かった。講演後のディスカッションもうまくいくのではないかなと思う。

○委員：

私も先生のお話を聞いたことがある。今回のパネルディスカッションは、ぜひ岩崎先生と金藤先生にお願いしたい。

○議長：

皆さんいかがか。

- 全委員：  
異議なし

(決定)

- 1 基調講演の講師は、文教大学の金藤ふゆ子先生にお願いする。
- 2 コーディネーターは岩崎委員にお願いする。

(パネルディスカッションの進め方について)

○議長：

役員会で他のブロックの研修会への参加について、承認され、各市町村の議長が集まる理事会において提案をしたところ非常に良いと賛成の意見を頂いた。交流大会の内容の検討にあたっては、各ブロックで、どんな内容の研修が実施されるか、把握をしておく必要がある。配布資料4「平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画」のとおり、研修会が予定されている。希望があれば、皆さんで参加したらと思う。

○委員：

今後の交流大会の内容を検討するためにも、皆さんで、他のブロック研修会に参加した方がいいと思う。

○事務局：

参加希望があれば、次回会議までに各ブロックの幹事市に、受け入れ可能か確認をする。次回会議で最終的な参加を確認したい。

・参加希望

第1ブロック（10月24日：福生市）木下委員・服部委員

第2ブロック（10月17日：武蔵村山市）矢野委員

第3ブロック（8月29日：町田市）須永委員・内田委員

第5ブロック（11月28日：狛江市）須永委員

### **議題3 今後の活動について**

○議長：

今回は、時間の関係もあるので、これまでに皆さんから出された意見をもとに、次回検討したい。

### **議題4 その他**

#### **1 都市社連協第4ブロック研修会（10月3日）について**

※事務局より、配布資料5「平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会の開催について（通知）」に沿って概略説明後、参加確認。

- ・日時：10月3日（土曜日）午後1時30分～4時
- ・テーマ：地域で学び地域で活かす

- ・内容：事例発表と交流会（グループ討議）
- ・会場 東村山市市民センター
- ・マイクロバス利用予定
- ・8月27日（木曜日）に打ち合わせ会議予定
- ・出席予定およびグループ討議の参加希望

第1テーマ：矢野委員・原田委員

第2テーマ：森田委員・服部委員

第3テーマ：須永委員・川崎委員・沼本委員・原委員

第4テーマ：内田委員・木下委員

## 2 全国社会教育研究大会（10月7日～9日）の参加について

- ・正副議長と木下委員が参加予定

## 3 関東甲信越社会教育研究大会（11月5日～6日）の参加について

- ・参加日程：11月5日（木曜日）～ 6日（金曜日）1泊2日
- ・参加予定：須永委員、内田委員、岩崎委員、川崎委員、木下委員、沼本委員、服部委員、原委員、原田委員、森田委員、矢野委員
- ・交通はマイクロバス
- ・第一希望分科会

第1分科会：内田委員・服部委員

第2分科会：矢野委員

第3分科会：須永委員・川崎委員・沼本委員・原委員

第4分科会：原田委員・岩崎委員

第5分科会：木下委員・森田委員

## 4 文化財保存・活用計画策定委員会（7月29日）の報告

○矢野委員より報告：

- ・1回目は、5月27日に開催され、委嘱状交付と計画の概要についての説明。
- ・7月29日の2回目は、文化財保存に関するアンケートの集計の報告があった。
- ・結果から、文化財に関する情報を広く市民に周知し、また高いレベルでの計画とその推進により関心を高め、文化財と市民生活との関わりを深めてゆくことが大切であるとの意見があった。
- ・登録文化財制度の創設等、登録文化財の活用などについても意見が出され、下野谷遺跡活用についても、追加指定や、周辺および保存施設の整備を引き続き行うとともに、都心部の遺跡保護のモデルとして位置づけて、計画を積極的に進めていく必要があるという意見があった。施設の充実・整備に関しては、文化財の保存や展示に対する施設環境の整備を早急に行うことが必要、5,000年前の縄文遺跡なので、落下や転倒などを防げるような施設の整備が必要だという意見があった。
- ・今後、市民と連携していく必要性が大きいですが、市民参加による文化的まちづくりの課題として、行政として文化財に関わる専門部署の設置が必要である。5月に文化財係が社会教育課に設けられて、これからはその組織を通じて、市長部局や市民と連携を取りながら推進していくという形になっている。

## 5 合築複合化基本プラン策定懇談会（7月30日）の報告

沼本委員より報告：

・担当主管は生活文化スポーツ部文化振興課。懇談会のメンバーは学識経験者2名、市民会館の活動団体代表者2名、文化芸術振興推進委員会委員2名、社会教育委員2名、公民館運営審議会委員2名、図書館協議会委員2名で、12名。検討期間は来年3月まで、6回の会議開催予定。

・事務局から以下の説明があった。

1 現在の市民会館・公民館・図書館の面積、実際の利用状況、施設3館の現在の課題などについて

2 各施設の現状として、老朽化、耐震の問題がある。

・委員の方からは、「駅に近い方が良い」「3館合築と市庁舎統合との関係は」といった質問があった。

・今回の検討にあたっては、今までの考え方を踏襲するのではなく、新しい発想や考え方で、これからの未来に向けた社会教育の考え方を議論し盛り込んでいく良い機会ではないかと思う。

・社会教育委員としての要望も出して頂きたい。

○服部委員より報告：

・1回目ということで、自分たちの立場での各施設のあり方についての発言が主であったように感じた。

次回以降は、懇談会の委員という立場で、市の方から具体的に出されるたたき台を検討していく事になると思う。

今まで通りのものをみんなが求め合っても無理なので、それぞれの機能で、何がパブリックなのか、新しい施設の形を実現している施設があれば見学してみたいと思う。

・皆さんにも懇談会での検討経過を報告し、ご意見があれば反映させていきたいと思う。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（8月定例会）は終了する。

※次回会議 平成27年9月14日（月曜日）午後2時から

以上